

科目名	母性看護学特殊研究		分野・必選別・ 単位数	専門科目 (リプロダクティブヘルス・ライツ看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 梶原祥子 准教授 篠原好江					
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法 演習
授業の概要	母性・助産領域発展のためのリーダーとしての能力の獲得を目指して、研究論文作成の過程に沿って、学生が自立的に活動し専門性を高める能力を向上できることを目的とする。研究課題に沿って研究計画書の立案から研究の実施、論文の作成まで、自主的に研究の過程を展開する。					
授業の到達目標	・看護学・助産学に関する研究課題を設定し、研究プロセスに沿って博士論文を作成できる。					
授業計画	回数	担当者	行動目標			
	<p>【第1回～第75回】看護研究のプロセスに従い、博士論文を作成することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献検討とそのまとめ ・研究課題の明確化、研究方法の検討および決定 ・研究計画書の作成 ・倫理審査 ・データ収集と分析 ・中間報告 ・論文作成 <p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性のライフサイクルにおける健康支援に関する研究 ・周産期における健康支援に関する研究 ・性同一性障害当事者への生活支援に関する研究 					
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	研究プロセスにおける個々の課題について事前準備は十分に行う。				
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。				
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要である。				
教科書	特に定めない。					
参考書	必要に応じて適宜提示する。					
成績評価の方法および基準	研究計画書30%、中間発表30%、口頭試問40%により評価する。					
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。					